



「新年度発行に寄せて」

社会福祉法人峰林会 理事長 片桐武美

私自身72歳を迎えるに当たり、介護を身近な自分の問題としてとらえながら、今回考えてみました。

平成27年度は、介護保険制度が大幅に改正され特別養護老人ホームの運営においては、2.27%の報酬削減が報道されています。

直接的な法人収入にはならない職員の処遇改善加算やハードルの設けられた加算を除くと、実質的には4.48%の減収が起り得る今回の改正となっています。さらには、保健医療福祉分野、建設分野など様々な業種での人材不足が起きており、少子高齢化の流れの中で、就労する人自体が減少化してきている状態が、介護分野においても起きています。

人に接する福祉の人材は、単に人がいればいい、介護ロボットに代わればいいというものではありません。そこには、人と人が寄り添い、人の好き嫌いや言葉の行き違いから生じる感情の動きをしっかりと受け止められる「人」がいなくてはなりません。国が定めた人員基準を下回っているため、施設の100%稼働には至らない施設がここ数年前から出始めていると聞きます。そして、このような状況なのにも関わらず、新設の施設や増床をする施設があります。建物はあれど、そこに働く人がいない…そして、そのような状況にあるにもかかわらず、更に建物を作る…人の足りない中での人員獲得合戦(引き抜き)がそこで起き始めます。そして、この引き抜き合戦が、最終的にはサービスの質の低下に間違いなく繋がっていきます。「特養待機者を減らす」という問題解決の手段として、建物をつくることが一番簡単なことと思いがちです。しかし、開所したけれども、フル稼働ができない。開所したけれども、サービスの質が低い…そんな状況でよいのでしょうか。

福祉を仕事として働く人に求められるものは、プロとしての専門性と人柄です。専門性が高すぎても、寄り添う人柄がなければいけません。また、その逆もいけません。それぞれバランスのとれた職員がいなければ、質の高いサービス提供は難しい状況となります。

当法人の「他人(ひと)を思いやる心」「ここではみんなが家族です」という理念のもと、今年度も一年間、福祉の(人と接する)プロとして、職員一同ご利用者に寄り添っていきます。

明るく感謝の気持ちを大切に頑張ります！どうぞよろしくお願ひします



田島彩子
(特養・峰林荘)



野田祐子
(特養・看護師)



中村明子
(特養・峰林荘)



古谷よし子
(特養・調理)



峰林荘

NEWS TOP3

第1位 峰林荘デイサービスが

リニューアルオープン!!

第2位 峰林荘にひょうたん島?

第3位 2015年は未(ひつじ)年

第1位 峰林荘デイサービスが リニューアルオープン!

どの席からでも桜が見える開放的な空間



峰林荘1階に設置されていました「峰林荘デイサービスセンター」を同敷地内に建物を新築し、4月より本格的に移動しました!小規模デイサービスならではのアットホームな雰囲気大切に、ご利用者お一人お一人が一日を楽しく過ごしていただけるよう、心を込めてサービスを行なってまいります。新築の建物は太陽の光が入り、暖かなスペースとなっております。体験利用や見学は随時受付しております。ぜひお立ち寄りください。お問い合わせは☎0297-44-4399峰林荘デイサービスまで。

これまで使用していたデイサービスホールは、地域へ開放する地域交流スペースとなっております。いつでも地域の方々が集え、楽しみのある和やかな場を提供することでご家族や地域の方々のご入居者との交流、高齢者理解の増進、将来の人生設計を考える機会へと繋げられることを目的に設けました。どうぞお気軽にお越し下さい。地域の皆様にこれまで同様ご愛顧賜りますよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

第2位 ひょうたん島♪

守谷ひょうたんクラブ会長の清水さんが、市役所やショッピングセンターでの展示会が終わったひょうたん作品を、さっそく峰林荘の玄関ホールに飾りつけにきてくださいました。芸術的な作品から流行のキャラクターひょうたんまで様々なひょうたんが並びました。峰林荘クリスマス会では、清水さんのひょうたんイルミネーションの点灯式が行われました。七色に煌めくひょうたんに感動しました。



第3位 2015年は未年



新年のあいさつの年賀状。せっかく出すのならば素敵なものをお届けしたいと、ご利用者の書道作品を毎年恒例の年賀状デザインとしています。お題は「未(ひつじ)」です。大きくて力強い未や、細くて味のある未、さらさらっと書いた未など十人十色の未が揃いました。日頃の感謝の気持ちを込めて未を書き上げました。皆様のお手元に年賀状は届きましたでしょうか。